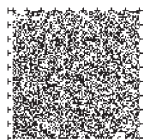


令和元年度

福岡県男女共同参画白書



福岡県



福岡県男女共同参画白書の刊行にあたって



少子高齢化や人口減少など、社会環境は大きく変化しています。そのような中、地域が活力を維持していくため、男女がお互いを尊重し、あらゆる分野でそれぞれの個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現が、ますます重要となってきています。

県では、福岡県総合計画において、「女性がいきいきと働き活躍できること」を取り組むべき重要な柱の一つとして掲げるとともに、「第4次福岡県男女共同参画計画」を策定し、働く場や地域・社会活動における女性の活躍推進、誰もが安全・安心に暮らせる社会の実現、男女共同参画社会の実現に向けた意識改革・教育の推進を目標として、施策を総合的・計画的に進めています。

そうした中、昨年度末には県内60市町村全てにおいて男女共同参画計画が策定されました。また、県の審議会などの女性委員の割合は10年連続で40%を超えるなど、県内全域で男女共同参画社会を実現するための基盤づくりが着実に進んでいます。

一方で、性別による固定的な役割分担意識はいまだに根強く残っています。国際的に見れば、政治や企業、研究分野などでわが国の女性の社会参画は大変低い水準にあります。長時間労働などの働き方の見直しや男性の家事・育児への積極的な参画など、社会全体で男女が共に仕事と家庭を両立できる環境を整えていく必要があります。

さらに、DVや性犯罪など、女性に対する暴力も依然として深刻であり、社会的、経済的にさまざまな困難を抱える女性に対する支援は、男女共同参画社会を実現する上で重要な課題となっています。

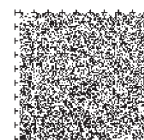
国では、昨年5月、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が改正されるなど、女性をはじめとする多様な労働者がより一層活躍できる環境が整えられています。本県においても、引き続き、社会のあらゆる分野で、女性がそれぞれの個性と能力を最大限に発揮し、いきいきと活躍する「女性活躍先進県」、そして、男女共同参画社会の実現に向け効果的な取り組みを推進してまいります。

本書は、福岡県男女共同参画推進条例に基づく年次報告として公表するものであり、本県の男女共同参画に関する現状や施策の概要、市町村の状況などを取りまとめています。

これからの男女共同参画社会づくりを推進していく上で、多くの皆さんに活用していただければ幸いです。

令和2年3月

福岡県知事 小川 洋



目 次

第1部 福岡県における男女共同参画の現状

1	人口の変化	2
2	女性の就労をめぐる状況	4
3	仕事と生活の両立の実態	11
4	地域における男女共同参画の状況	15
5	県民の意識	25
6	ひとり親家庭の状況	28
7	女性等に対する暴力の状況	29
8	健康	32

第2部 福岡県男女共同参画計画

1	第4次福岡県男女共同参画計画 施策体系（平成28年度～令和2年度）	34
2	第4次福岡県男女共同参画計画の成果指標・平成30年度実績	35
3	第4次福岡県男女共同参画計画の具体的施策実施状況（平成30年度）	37
	目標1 働く場における女性の活躍促進	37
	目標2 地域・社会活動における女性の活躍促進	43
	目標3 誰もが安全・安心に暮らせる社会の実現	45
	目標4 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革・教育の推進	53

第3部 市町村における男女共同参画の推進状況

1	推進体制等	58
2	女性の登用状況	62
3	政治分野の推進状況	66
4	配偶者からの暴力防止	70

第4部 資料編

1	附属統計	72
2	参考資料	99

※年号の表記について、平成31年4月時点のデータは、「平成31」「平31」「H31」としてしています。

